

草の根通信

URL: <http://www.manjiro.or.jp>

財団法人 ジョン万次郎ホイットフィールド記念 国際草の根交流センター

< 2007.3.20 >

Vol.53

住所: 東京都千代田区麹町2丁目12-18

グランアクス麹町 602号室

電話: 03 3511 7171 / Fax: 03 3511 7175

E-mail: info@manjiro.or.jp

第17回日米草の根交流サミット能登大会 開催予告

第17回サミット能登大会

能登半島で開催

今年は石川県 能登半島全域でサミット大会が行なわれます。

地域分科会(ホームステイ・プログラム)は七尾市を中心として、16箇所
地元の文化・歴史に触れるイベントと共に行なわれます。



温泉街と旅館

サミット大会史上初めての試みがあります。

アメリカ人参加者は全員温泉旅館に宿泊し、浴衣や布団、大浴場や仲居さんとのコミュニケーションを楽しんでもらう予定です。

初めの2日間は和倉温泉の旅館と加賀屋に宿泊し、自由時間には和倉温泉街の魅力も堪能してもらいます。

最後の1泊は志賀の温泉のある能登ロイヤル・ホテルに宿泊します。

大会日程

能登大会の日程は次のように予定しています。

6月5日(火) 米国出発

6月6日(水) 成田空港到着、能登半島到着、和倉温泉の旅館で宿泊
〔学生参加:ホームステイ〕

6月7日(木) オリエンテーション、自由行動、オプション・プログラム
オープニング・セレモニー、ウェルカム・パーティー、加賀屋に宿泊

6月8日(金) 地域分科会へ出発、ホームステイ

6月9、10日(土、日) 地域分科会、ホームステイ

6月11日(月) クロージング・セレモニー、フェアウェル・パーティー
能登ロイヤルホテルに宿泊〔学生参加:ホームステイ〕

6月12日(火) 能登半島出発、羽田空港到着、東京ドームホテル宿泊
〔オプション・プログラム参加者:各地域へ移動〕

6月13日(水) 成田空港出発、帰国



協賛企業

NTTコミュニケーションズ株式会社 / 三菱商事株式会社 / 全日本空輸株式会社 / トヨタ自動車株式会社 / 明治安田生命保険相互会社 / 東京電力株式会社 / 株式会社大庄 / イオン株式会社 / 株式会社永谷園 / 東京海上日動火災保険株式会社 / 麒麟麦酒株式会社 / コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社 / キヤノン株式会社

地域分科会(ホームステイ・プログラム)

能登半島全域で、日中は特色あるプログラムを行い、夜はホームステイをしながら交流を深めます。

1. 宝達志水 日本の遊びをテーマにメンコやソーラン踊りを楽しむ。
2. 羽咋 生の葉を焼き付ける「大社焼」に挑戦。
3. 志賀 地引網で取れた新鮮な魚でバーベキュー。
4. 門前 座禅体験や干物作り、草木染の多彩なプログラム。
5. 輪島 活気ある朝市と幽玄な万燈会を訪問。
6. 金蔵 寺院や棚田を巡り、万燈会では「祈り」を体感。
7. 珠洲 里山・里海に囲まれ、音楽を楽しむ。
8. 能登 そば打ちや書道、座禅に挑戦。
9. 田鶴浜 建具発祥の地で民家や寺院を間近で見学。
10. 中能登 能登上布、和菓子作り、切り絵などの伝統工芸に挑戦。
11. 能登島 海に面する地で、郷土料理やわらじ、たたみを楽しむ。
12. 中島 演劇の殿堂で古代や現代劇に触れる。
13. 大呑 自然の恵みに感謝する生活を通じて文化を知る。
14. 山の寺 寺院群を訪れ、幽玄の世界に浸る。
15. 一本杉 商店街が発信する人情・人の温かさに触れる。
16. 穴水 地元ワインやカヤック、歴史的な散策を楽しむ。



オプション・プログラム

毎年、サミット大会後に過去サミット大会開催地を訪れる「オプション・プログラム」を行なっています。旧交を深めたり、新たな日本の魅力を発見する絶好の機会です。

6月12日(火) 能登半島出発、各オプション・プログラム地域へ移動、各地でホームステイ

6月13、14日(水、木) 各オプション・プログラム、ホームステイ

6月15日(金) 各地出発、東京到着、東京ドームホテル宿泊

6月16日(土) 成田空港出発、帰国

(場所)

1. 金沢 2. 広島 3. 庄内(山形) 4. 日光・栃木 5. 神奈川
6. 静岡 7. 愛知 8. 鹿児島 9. 千葉 10. 京都 11. 東京

募集締めきり

3月31日に第17回サミット能登大会の募集が締めきられます。

150名ほどの一般参加者と120名の学生が参加し、合計で300名近くのアメリカ人が来日の予定です。9.11以降、参加者は落ち込み傾向でしたが、250名を超えるまで盛り上がりました。

協賛企業

新日本石油株式会社 / 東京ガス株式会社 / アサヒビール株式会社 / 四国電力株式会社 / 中部電力株式会社 / 北海道電力株式会社 / 株式会社東芝 / トヨタフィナンシャルサービス株式会社 / 富士ゼロックス株式会社 / 三井住友海上火災保険株式会社 / オムロン株式会社 / エヌ・ティ・ティ・ファネット・システムズ株式会社

能登大会へ向けてのメッセージ

能登地域のホストファミリー

Y.O.さん 今まで一度もホストファミリーを経験したことのない私は、あれやこれやと余計な心配をしています。「どうい
人なのか?」「うまく付き合っているのか?」「ちゃんと意思疎通できるのか?」。ちょっと緊張気味なスタートかもしれませんが、私の家族として、一緒に大切な時間を過ごしたいと思います。

H.S.さん 年間・数名を、必ずホームステイしています。自分で言うのも可笑しいですが、熟練したホストファミリーとい
えます。今では、自分の家族が世界中に居るような気持ちですね。妻も娘も英語が堪能で、言葉の壁も少ないと思
います。私の家族になっていただける方、大募集しています。

ワシントンD.C.地域の参加者

I am looking forward to this Summit in Noto this year.
Along with myself, I bring good wishes from my family
back in the U.S. Every time I come to Japan, I learn
something new and make new friends.

I hope you all enjoy the event as much as I do, and make
new friends along the way. I'm anxious to see old
friends, make new ones, and share the experience of
both cultures with all who attend!

The friendship that started 164 years ago between
Manjiro and Captain Whitfield lives on because of
everyone of you who participate in the Summit. I want to
thank you for continuing what our ancestors were lucky
enough to start.

Thank you,

Scott Whitfield

My trip to the Summit is part of a life long dream. I have
always wanted to visit Japan. My father, Fumio Morikawa,
was born in the United States to parents from Japan
(Matsujiro and Fujiye Sakakura Morikawa). In 1995, I
started gathering the genealogical information the history
on my family. I am writing our family history. I have
found that my grandparents were from Mieken. I have
found only one address, from 1914, that my family lived in
Kusumura (in Mieken). Kusu is now part of
Yokkaichi. With the gracious help and assistance of
Tohru Takahashisan, it has been my, what seemed to be
a very remote hope to meet and speak with my family on
the optional tour while I am in Japan. Going to Japan and
meeting family there exceeds all realistic expectations I
have ever had. It has been nearly 100 years since our
families have been in touch with each other. I was given
some information on my family the other day that brought
tears of joy to my eyes that the possibility of the meeting
was likely to happen. I am so thrilled to be going to Japan
in June 2007.

Sincerely,

Joe Barrett

今年の能登大会を楽しみにしています。今回参加でき
ない家族からの友情への願いと一緒に日本へ向います。
私が日本を訪れる時はいつも何か新しいことを学び、新
しい友人ができます。

全ての方が、私と同じくらいこのイベントを楽しみ、大会
中に友人の和が広がることを願います。私は旧友に再
会することや新しく出会うこと、そして参加する全ての方
と一緒にお互いの文化経験を分かち合うことを心待ちに
しています。

164年前に始まった万次郎とホイットフィールド船長の友
情が続いてきたのは、一重にサミット大会参加者、皆さ
んのおかげです。祖先たちが友情を育むことのできたこの
幸運な環境に感謝します。ありがとうございます。

スコット・ホイットフィールド

サミット大会の参加は、私にとって長年の夢のようなも
のです。日頃から日本を訪れたいと思っていました。

私の父、森川文男はアメリカで日本人である両親(森
川松次郎と坂倉フジエ)の間に生まれました。私は、
1995年から家族のルーツを探し始め、私の祖父母
(文男の両親)は三重県出身ということがわかりました。
更に、1914に家族が住んでいた楠村(現在、三重県
四日市市)の住所がわかりました。

高橋徹の親切な助けによって、叶いそうもなかった希
望、つまり日本の家族に会い、話をする事が能登大
会のオプション・ツアーでできることになりました。これ
は私の予想を遥に上回ることです。私達家族は連絡
を途絶えてから100年近くになります。家族に関する情
報をもらえた時には、再会が現実となる喜びで涙しまし
た。

2007年6月に日本に行くことをとても楽しみにしていま
す。

敬具

ジョー・バレット

ジョン万次郎5代目 中濱京さんの寄稿

国際草の根交流センター サミット大会も今年で17回目となります。振り返れば、日本各地で多くのアメリカの方々をお迎えし、また逆にアメリカの多くの州で、ホームステイさせていただき、それぞれの生活を垣間見ることができ、貴重な経験をさせていただいております。

サミット大会に参加して、私の一番の喜びは、日米の国籍を問わず、老若男女問わず、多くの方々との出逢いがあり、回数を重ねる毎に、友人の輪が広がって、まさしく草の根交流が拡大し、田口理事がおっしゃるように、「万次郎を中心にアメンバーのように人の輪が広がっている」のが実感できることです。

私達の普段の生活と違ったアメリカでの日常生活に、数日間でも浸ることで、気づきや、新たな考えが持て、時には自分の人生の価値観を変えるようなこともあります。

日米交流とは、大げさなものではなく、人種の違いはあっても、言葉が通じなくても、人間の繋がりは同じであり、お互いに「相手を理解しようとする気持ち」「思いやりの心」があれば何ら問題ないと確信できたことは、万次郎が感じたことと同じではないでしょうか。

ホイットフィールド船長と万次郎のストーリーは、過去のものではなく、国際交流の真のあり方を、このサミット大会を通して、現在も私達に伝えてくれているような気がします。



コロラド大会で参加者と記念撮影する京さん

各大会、各分科会を通じて心温まる出逢いがたくさんありました。このサミット大会に、様々な理由で参加された皆様が、個々に国境を隔てた友人を作ってください交流を深め、発展させてくださればと思います。

ホイットフィールド家と中濱家とは、気ままにE-mailで情報交換し、毎年大会で会うのを楽しみにしています。各地域の方々のご支援や、ボランティアの方々のご尽力により、リピーターとして参加される方も増え、サミット体制そのものが確立しつつあります。今後、益々本大会が発展し、21世紀、日米一のアメンバー群に成長することを願っております。



ホストファミリーや参加者と記念撮影する京さん

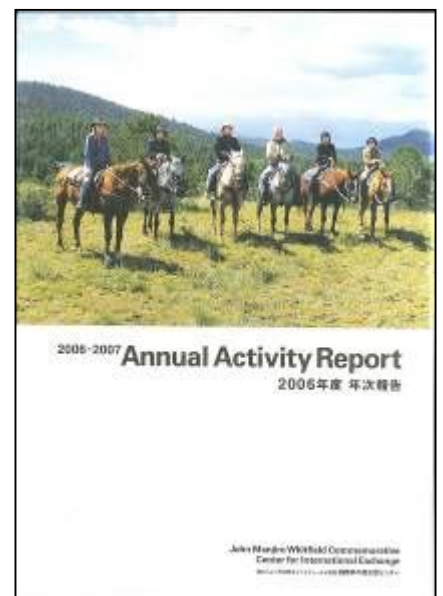
ジョン万次郎直系5代目 中濱 京

2006-2007 アニュアル・アクティビティレポート完成！

昨年、コロラド州で行われた「第16回日米草の根交流サミット」の記録を掲載しています。

オープニング・セレモニーや地域分科会、クロージング・セレモニー、オプション・プログラムの写真が満載です。また今年行われる「第17回日米草の根交流サミット能登大会」も併せてお知らせしています。

財団の概要では昨年新任した役員と、ご協力いただいている協賛企業が一新しています。なお推薦の言葉には安倍首相とシエラファ駐日米国大使のメッセージが掲載されています。



大会参加者の寄稿

第16回日米草の根交流サミットコロラド大会の参加者から寄稿いただきました。ここに紹介します。

日系人とカーさんのこと

アメリカの日系人は太平洋戦争により日本人と同等かまたはそれ以上の精神的および物質的損害を受けた。日本人のアメリカ移民は1868年に始まったが日本人に対する排斥の機運が高まったのは日本がロシアに勝利した日露戦争以後である。

アメリカに来て多くの日系人から彼らに対する激しい差別待遇を聞かされた。あるバースデーパーティーでの出来事。日系人の子供が白人の子供から誕生日のパーティーに招待されたので出かけたところ、その母親から、“ここはお前ら黄色人種の来るところではない。プレゼントを持ってすぐ帰れ”と追い返された。日系人は大学を卒業しても就職口は一切なく、卒業式は失業式を意味した。プールへ行くと水が黄色になるからとの理由で断られた。このような話は枚挙にいとまが無い。



アメリカの日系人は太平洋戦争により日本人と同等かまたはそれ以上の精神的および物質的損害を受けた。日本人のアメリカ移民は1868年に始まったが日本人に対する排斥の機運が高まったのは日本がロシアに勝利した日露戦争以後である。

アメリカに来て多くの日系人から彼らに対する激しい差別待遇を聞かされた。あるバースデーパーティーでの出来事。日系人の子供が白人の子供から誕生日のパーティーに招待されたので出かけたところ、その母親から、“ここはお前ら黄色人種の来るところではない。プレゼントを持ってすぐ帰れ”と追い返された。日系人は大学を卒業しても就職口は一切なく、卒業式は失業式を意味した。プールへ行くと水が黄色になるからとの理由で断られた。このような話は枚挙にいとまが無い。

真珠湾攻撃に国際法上の違法性はないが、いまだ交渉中の相手を最後通牒も発せず突然攻撃するという騙し討ちになってしまった。それは日系人排斥の国家的大合唱になったが、こんな話もある。真珠湾攻撃の翌日は月曜日だった。日系人の子供は皆白人の子供に殴られることを覚悟してびくびくしながら登校した。ある小学校での出来事。授業の始まる前、白人の番長がクラスの全員に対し、“日本政府は憎んで余りあるが、これら日系人の子供に罪はない。よって彼らに対し絶対に手出しをしてはならぬ”と宣言してくれた。多分番長の親が番長にそのように告げたのだろう。アメリカ人の底深い寛容な一面を見た思いがする。

1942年2月ルーズベルトが行政命令を発し、アメリカ西海岸の日系人は敵性外国人と見做され強制収容所に入れられることとなった。この突然の行政命令は日系社会に大混乱を与えたがその混乱に乗じて中国人やユダヤ人がウンカのごとく押し寄せ、ただ同然の値段で家や農園を日系人から取り上げた。ある日系人は骨董を1セントで売れとユダヤ人から言われ、その場で骨董を叩き割った。

ルーズベルトの命令に反抗した知事が西海岸に1人だけいた。コロラド州知事のラルフ・カーである。人道的見地から反対を唱えてくれ、コロラド州の全日系人は強制収容所入りを免れた。強制収容所は全米で10ヵ所に作られ、12万人が収容された。彼らは家、農園、権利、自由、職業、商売などのすべてを失った。これに反しコロラドの日系人は戦争中も安全に農業に従事することができ、州の農業発展に大いに貢献した。

カーはさらに日系人のコロラド州への移住を許可したがこれが州民の反発を招き、日系人反対の大デモに発展した。“ジャップを太平洋にぶち込め”というスローガンまで現れた。このときカーはデモ隊に対し毅然として、“日系人も合衆国憲法により基本的人権は保障されている。彼らのその権利を侵害する者があれば断固処罰する”と宣言してくれた。



西部諸州では日系人の収容所をどこに設けるかが大問題となった。広いカリフォルニア州でも2ヵ所以上の設置を承認しなかった。オレゴン、ワシントン、ネバダの諸州は収容所の建設を一切認めなかった。これを聞いたときカーは直ちにコロラド州に収容所を設けることを決意し、州南東部のアマチ(現在名グラナダ)にそれが建設されそこでは他州の日系人はかなり快適に過ごしたらしい。

カーは日系人に寛容であり過ぎるとして州民の間では不人気だった。州知事のあと上院議員の選挙に立候補したが気の毒にも落選してしまった。

去年9月コロラド大会出席の折にラハントという町の近くのクラウリー・ヘリテージ・センターを訪問する機会に恵まれた。このセンターは日系人のコロラド開拓の歴史とカーの偉大さを伝える為のもの

である。見学のあと地元の日系人とアメリカ人からセンター内でおいしいローストビーフのランチが提供され、彼らと会話を楽しんだ。年輩いた二世は、カーの良識と勇氣ある決断に深く感謝し、親しみを込めて“カーさん”“カーさん”と呼んでいた。日系人が“さん”付けて呼ぶもう一人のアメリカ人政治家がいる。それは排日法の撤廃を含め日系人の地位の向上に尽力してくれた元大統領の“ケネディーさん”である。

その場にいたアメリカ人からカーについて、彼は冷徹な理性の持ち主だった、彼はコロラドの歴史上最も信頼しうる(most reliable)知事であったなどのコメントを聞いた。ある女性はカーが大統領になっていれば、リンカン、ケネディーに比肩しうる立派な大統領になりえたと熱意を込めて語っていた。

アメリカの歴代大統領の中で筆者が好きな大統領はリンカンとケネディーだ。もしカーが大統領になっていれば好きな大統領がもう一人増えたかもしれない。

三菱商事が、
世界をおいしくブレンドする。

未来の地球は
どんな薫りがするんだろう。
三菱商事は、
さまざまな新しいビジネスを
提案することで、
世界中を、より味わい深く
ブレンドするお手伝いをしています。



私たちの空は未来につながっています。

2008年ボーイング787就航予定。



ANA

A STAR ALLIANCE MEMBER 

www.ana.co.jp